



## 院長の1分レクチャー25 【チック】

みなさんもチックという病名を聞いたことはありますよね。有名な症状は、まばたき、顔をしかめる、鼻を鳴らす、などですが、咳払いもよく見られます。

今回、一番お伝えしたいのはチックは「原因不明」ということです。育児の方法や本人の性格は根本的な原因ではありません。

ただし、ストレスが強いとき、逆にリラックスしているときにチック症状が増えるため、自宅・学校での接し方には注意が必要です。チック症状のせいで日常生活に支障をきたさないかぎりは、何もせずに（注意や指摘もしない）様子を見ましょう。

「こんなに咳払いをしていて授業は大丈夫かしら」と心配になることもありますが、適度な緊張感の下では無症状のことも多く、担任の先生が気づいていないこともよくあります。集中しているとき、寝ているときに症状がなくなること、一時的にがまんできることも特徴です。

残念ながら劇的に効くような治療はありません。短ければ1か月、長いと数年かけて徐々によくなっていきます。

- ①本人や保護者が悪いことをしたからチックになるわけではありません。
- ②すぐに効く薬はありません。良くなるのを気長に待ちましょう。

※「院長の1分レクチャー」はホームページや公式LINEアカウントからも読むことができます。



おおつかこども  
クリニック